Panasonic

操作説明書

Live Production Suite Series Plug-in ソフトウェア





目次

はじめに	3
登録・起動の設定	3
AUX_IP(V3.XX)	4
<概要>	4
<準備>	4
<設定>	4
External_Control(V3.XX)	6
<概要>	6
<準備>	6
<設定>	6
<コマンド仕様>	6
Macro Trigger IP	7
<概要>	7
<準備>	7
<設定>	7
<コマンド仕様>	8

はじめに

Live Production Suiteシリーズでは、プラグインソフトウェアを登録して機能を追加できます。 プラグインソフトウェアとしては以下のものを準備しております。

- AUX_IP^{*1}:ネットワークで接続したリモートコントロールパネル(Venetex社製のVS-R45)から、AUX出力 素材が選択できます。
- GVG200^{*1}:GVG200 プロトコル準拠の機器を、本製品のシリアルポート(RS-422)に接続して、制御できます。
- TALLY^{*1}:TSL UMD Protocol V3.1 に対応したシリアル通信フォーマットで、タリー情報が出力できます。
- P2_Control: P2機器などをシリアル通信フォーマット(RS-422)で接続し、記録や再生などの制御を行うことができます。
- External_Control:ネットワークに接続した外部機器との間で、バスの切り替えや素材名情報の送受信ができます。また外部機器からのSourceLink設定(Master/Slave)の切り替えが可能です。
- CAM_Control:ネットワークに接続したリモートカメラにパン・チルト、プリセット再生などの制御を行なうことができます。
- *1) システムバージョン1.XX では、プレインストールされていました。

登録・起動の設定

トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[PLUGIN Maint]→[Configuration]/[Load]タブで、プラグインソフトウェアの登録、削除、起動を設定できます。詳しくはLive Production Suiteシリーズ取扱ガイドを参照ください。

注意:

- プラグインソフトウェアの登録・起動の設定は本体ソフトウェア V2.00.00 以上で有効になる機能です。 V2.00.00 未満では本プラグインソフトウェアは登録できません。
- 2) 本プラグインソフトウェアの起動は本体ソフトウェア V3.00.00 以上で有効となります。V3.00.00 以前の本 体ソフトウェアバージョンに登録をおこなっても本プラグインソフトウェアは起動しません。プラグインが正常 に起動されているかは、プラグインのメニューが表示されているかで判別できます。
- 3) 同プラグインソフトウェアを複数登録しての使用はできません。旧バージョンを含む同プラグインソフトウェアがすでに登録されている場合は、登録済みのプラグインソフトウェアを削除した後に本プラグインソフトウェアの登録をおこなってください。
- 4) 起動設定"Enable on boot"が"ON"の状態で Live Production Suite メインフレームの電源再起動後にご 使用下さい。
- 5) CAM_Control、Macro Trigger IP は、本体ソフトウェア V4.00.00 以上で、動作可能です。

AUX_IP(V3.XX)

<概要>

本ソフトウエアは、Live Production Suiteシリーズ用のプラグインソフトウエアです。ネットワークで接続したリモートコントロールパネル (Venetex社製のVS-R45)から、以下のバスの選択できます。

- AUX 出力
- 各 ME の PGM,PVW
- 各 ME の KEY1~KEY4 の Fill と Source
- 各 ME の UTIL1/2 出力
- DSK1~DSK4の Fill と Source
- DISPとVMEMのFillとSource

「PGM/PVW」ボタンでは、

VS-R45のバス切り替え名称のAUX1~AUX4にLive Production SuiteのAUX1~AUX16バスのいずれかを設定した場合、VS-R45の「PGM/PVW」ボタンを押下することで、設定しているAUXバスのクロスポイントをDSK PGM1/DSK PVW1に切り替えることができます。

「AUTO」ボタンでは、

- ・VS-R45のバス切り替え名称のKEY、PinP1、PinP2、DSK1、DSK2にLive Production SuiteのME1KE1 ~KEY4、ME2KEY1~KEY4、DSK1~4のFillかSourceバスのいずれかを設定した場合、VS-R45の「AUTO」ボタンを押下することで、設定しているキーバスのキーON/OFFトランジションを行うことができます。
- ・VS-R45のバス切り替え名称の AUX1 に Live Production Suite の AUX1~AUX4 のいずれかを設定した 場合、VS-R45の「AUTO」ボタンを押下することで、設定している AUX バスのトランジション ON/OFF の 設定ができます。

 ・VS-R45のバス切り替え名称の PGM/A、PST/B に Live Production Suite の ME1PGM、ME1PVW、 ME2PGM、ME2PVW のいずれかを設定した場合、VS-R45の「AUTO」ボタンを押下することで設定して いる ME の BKGD AUTO トランジション動作を行うことができます。
 * PGM/A と PST/B に別々の ME が設定されている場合は、PST/B に設定されている ME の BKGD

* PGM/A と PST/B に別々の ME が設定されている場合は、PST/B に設定されている ME の BKGE AUTO 動作となります。

<準備>

VS-R45 をLAN ケーブルでAV-HS60U1/AV-HS60U2背面のLAN端子に接続します。

ーつのプラグインで6台のVS-R45に対応してます。複数のVS-R45と接続する場合はHUBで分配して接続します。VS-R45は、AV-HS450用の設定にしてください。

<設定>

- AUX_IP プラグインが登録されている番号のメニューを表示します。
 ・トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin 1-6]→[AUX_IP]タブを選択します。
- AUX_IP プラグインのネットワークを設定します。
 Port No コラムで本機の受信ポート番号を設定します。"60020"固定です。

 VS-R45のIPアドレス設定
 [AUX_IP IP Address1]~[AUX_IP IP Address3]コラムで、接続される6台分のVS-R45のIPアドレスを 設定します。
 本メニューで設定したIPアドレスに対応するVS-R45(AUX_IP1~6)各々に対して、Convert1~11のVS-R45のバス切替え名称に対応するコラムとAUX XPT1~32を、本機のAUX バスと素材に関連付けま す。
 Convert1~Convert11 の VS-R45 のバス切替え名称に対応するコラムは、6 台の VS-R45(AUX_IP1~ AUX_IP6)それぞれに設定します。AUX_IP コラムで対象とする AUX_IP1~6 を設定し、Convert1~11 の_VS-R45 のバス切替え名称に対応するコラムで Live Production Suite のバスを設定します。

Live Production Suite バス	アサイン候補
AUX	No Assign,AUX1~16
ME1	No Assign,PGM,PVW,KEY1 F,KEY1 S~KEY4 F,KEY4 S,UTIL1,
	UTIL2
ME2	No Assign,PGM,PVW,KEY1 F,KEY1 S~KEY4 F,KEY4 S,UTIL1,
	UTIL2
DSK	No Assign,KEY1 F,KEY1 S~KEY4 F,KEY4 S
Other	No Assign, DISP,VMEM F,VMEM S

XPT ASSIGN1~XPT ASSIGN32 コラムは、6 台の VS-R45(AUX_IP1~AUX_IP6)それぞれに設定し ます。AUX_IP コラムで対象とする AUX_IP1~6 を設定し、XPT ASSIGN1~XPT ASSIGN32 コラムで、 VS-R45 のクロスポイントボタンに対応する素材を設定します。

Live Production Suite 素材	アサイン候補
Input 1-20	No Assign, SDI IN1~SDI IN20
Input 21-32	No Assign, SDI IN21~SDI IN32,DVI IN1,DVI IN2
Internal Source	No Assign, Still 1V,Still 1K,~Still 4V,Still 4K,Clip 1V,Clip 1K,~
	Clip 4V,Clip 4K,
	CBGD 1,CBGD 2,CBAR,Black
MEOut	No Assign, ME1PGM, ME1PVW, ME1CLN, ME1KEYPVW,
	ME2PGM, ME2PVW, ME2CLN, ME2KEYPVW,
	DSKPGM1, DSKPGM2, DSKPVW1, DSKPVW2, DSK1CLN~
	DSK4CLN,
	SEL_KEYPVW
MV	No Assign,MV1,MV2,MV3,MV4

External_Control(V3.XX)

<概要>

本ソフトウェアは、Live Production Suiteシリーズ用のプラグインソフトウェアです。ネットワークに接続したシス テムコントローラーやタリーインターフェースなどの外部機器との間で、Live Production Suite全てのバスの素 材切り替えや素材名情報の送受信ができます。また外部機器からのSourceLink設定(Master/Slave)の切り 替えが可能です。

TSL UMD Protocol V5.0 に対応した通信フォーマットでタリー情報とSourceID情報の送受信が可能です。 弊社製品のリモートカメラコントローラーAW-RP120とIP 接続することにより、RP120カメラセレクトによる Live Production Suite バスの素材切り替えや Tally 情報送信、フォーカスアシストや素材名の取得が可能で す。

※制御バスの設定などは AW-RP120 の取扱説明書を参照して下さい。

<準備>

外部機器をLAN ケーブルでAV-HS60U1/AV-HS60U2背面のLAN端子に接続します。

ーつのプラグインで20系統の接続IPに対応しています。複数の外部機器と接続する場合はHUBで分配して接続します。IPは重複しないように設定してください。

Live Production Suiteのネットワーク設定は<SYSTEM>ボタン→[SYSTEM]→[NetWork]タブで確認します。 初期値はIP Address: "192.168.0.5"、Subnet Mask: "255.255.255.0"です。

<設定>

- External_Control プラグインが登録されている番号のメニューを表示します。
 ・トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin #-#]→[External_Control]タブを選択します。
- External_Control プラグインのネットワークを設定します。
 Switcher1 コラムの Receive Port No.で本機の受信ポート番号を設定します。 初期設定は"62000"です。設定可能範囲は"62000"~"65535"です。
 - Switcher2 コラムの Transmission Interval でコマンド送信間隔の設定をおこないます。
 初期設定は"16ms"です。設定可能範囲は 16ms ステップで"0ms"~"80ms"です。
- 外部接続機器の IP アドレス設定。
 [AUX Panel1]~[AUX Panel10]コラムの IP Address1-20 で、接続される外部機器の IP アドレスを設定します。
- [AUX Panel11]コラムの Receive Port No.で外部接続機器の受信ポート番号を設定します。 初期設定は"65000"です。設定可能範囲は"60000"~"65535"です。 リモートカメラコントローラーAW-RP120と接続する場合は、60031に設定します。
- TSL UMD Protocol V5.0 コマンドの DMSG-CONTROL パラメータについて。 RH タリー出力時は TallyGroup1 の設定が出力されます。 TXT タリー出力時は TallyGroup2 の設定が出力されます。 LH タリー出力時は TallyGroup3 の設定が出力されます。
- コントロールパネルの素材名を変更させる場合は<CONF>ボタン→[SOURCE NAME]→[Panel Name]タブの各入カソースコラムの Type を User に設定しておく必要があります。 同様にマルチビュアーの素材名を変更させる場合も<CONF>ボタン→[SOURCE NAME]→[MV Name] タブの各入カソースコラムの Type を User に設定しておく必要があります。 外部からの素材名変更については個別の入カソースに対しての変更はできません。 User 設定されている素材に対しての一括変更となります。 Live Production Suite メニュー上でも素材名は変更可能ですが、後に変更された情報が素材名に反映さ れます。

<コマンド仕様>

別紙 Live Production Suite 外部インターフェース通信プロトコル仕様書を参照して下さい。

Macro Trigger IP

<概要>

本ソフトウェアは、Live Production Suiteシリーズ用のプラグインソフトウェアです。ネットワークで接続した外部 機器からTCP/IPプロトコルによる特定コマンドを受信することで、設定したマクロを実行することができます。 TCP/IPのPORT番号は、63000を使用します。

<準備>

マクロ実行のトリガをネットワークで与える外部機器を、LANケーブルで AV-HS60U1/AV-HS60U2背面の LAN端子に接続します。

20系統の接続IPに対応しています。複数の外部機器と接続する場合はHUBで分配して接続します。IPは重複しないように設定してください。

<設定>

- 本プラグインの設定メニューを表示します。
 ・トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin 1-6]→[Macro Trgger IP]タブを選択します。
- 2. マクロ実行のトリガをネットワークで与える外部機器の IP アドレス(Ip Address)と、実行するマクロ(Macro) を設定します。

最大 20 台(Connect1~20)まで登録することができます。

ALARM MACRO PLG-IN / Plugin 1-6 / Macro Trgger IP							
ME1	MEM CBGD	PLUGIN Maint	EXT PANEL	_IP External Control AUX_IP	Macro Trgger IP		
ME2	PRJ	Plugin 1-6	Mode	Target AV-LSx-10			
	MV		Connect1	Ip Address 0.0.0.0	Macro None		
	PANEL		Connect2	Ip Address 0.0.0.0	Macro None		
DSK	IN OUT CC		Connect3	Ip Address 0.0.0.0	Macro None		
OPR	SYS PLG-IN		Connect4	Ip Address 0.0.0.0	Macro None		
			Connect5	Ip Address 0.0.0.0	Macro None		

3. Live Production Suite に実行するマクロを登録します。マクロの登録については、Live Production Suite シリーズ取扱ガイドを参照してください。

<コマンド仕様>

外部機器とLive Production Suiteの間で送受信される TCP/IP プロトコルのコマンドについて記述します。

外部機器からマクロ設定コマンド(401)が Live Production Suite に送られると、マクロ設定応答コマンド(451) が返されます。

No.	名称		サイズ	内容
			(byte)	
0	開始コード		2	「@S」固定
2	送信	機器コード	2	上位 1byte:機器種別 0x19 固定
	元情			下位 1byte:機器番号(重複しないように任意に設定。1
	報			~)
4		PROTOCOL ID	1	0 固定
5		Transaction ID	1	任意の値を設定
6		IP アドレス	4	機器の IP アドレス
10		PORT 番号	2	機器の PORT 番号
12	受信 機器コード		2	上位 1byte:機器種別 0x02 固定
	先情			下位 1byte:機器番号(重複しないように任意に設定。1
	報			~)
14		PROTOCOL ID	1	0 固定
15		Transaction ID	1	任意の値を設定
16		IP アドレス	4	機器の IP アドレス
20		PORT 番号	2	機器の PORT 番号 63000=0xF618
22	情報	制御コード	1	0 固定
23	部ヘッ	制御数	1	0 固定
24	ダー	データ長	2	3 固定
26	情報	コマンド	2	マクロ設定 401=0x191
28	部デー	データ	1	0 固定
29	タ Reserved		481	0 固定
510	0 終了コード		2	「@E」固定

● マクロ設定コマンド(401) (外部機器 → Live Production Suite)

● マクロ設定応答コマンド(451) (Live Production Suite →外部機器)

No			サイブ	
NO.				
			(byte)	
0	開始コード		2	「@S」固定
2	送信	機器コード	2	上位 1byte:機器種別 0x02 固定
	元情			下位 1byte:機器番号(重複しないように任意に設定。1
	報			~)
4		PROTOCOL ID	1	0 固定
5		Transaction ID	1	受信時の受信先 Transaction ID
6		IP アドレス	4	機器の IP アドレス
10		PORT 番号	2	機器の PORT 番号 63000=0xF618
12	受信	受信 機器コード 2 上位 1byte:機器種別 0x19 固定		上位 1byte:機器種別 0x19 固定
	先情			下位 1byte:機器番号(重複しないように任意に設定。1
	報			~)
14		PROTOCOL ID	1	0 固定
15		Transaction ID	1	受信時の送信元 Transaction ID
16	IP アドレス		4	機器の IP アドレス
20		PORT 番号	2	機器の PORT 番号
22	情報	制御コード	1	0 固定
23	部ヘッ	制御数	1	0 固定
24	ダー	データ長	2	3 固定
26	情報	コマンド	2	マクロ設定応答 451=0x1C3
28	部デー	データ	1	0 固定
29	タ	Reserved	481	0 固定
510	終了コー	-ド	2	「@E」固定